



SNMP エージェントのコマンド

この章では、Broadband Access Center (BAC) の Device Provisioning Engine (DPE) 上の SNMP エージェントを管理および監視するために使用するコマンドラインインターフェイス (CLI) コマンドについて説明します。

この章で説明するコマンドは、次のとおりです。

- `snmp-server community` (P.5-2)
- `no snmp-server community` (P.5-2)
- `snmp-server contact` (P.5-3)
- `no snmp-server` (P.5-3)
- `snmp-server host` (P.5-4)
- `no snmp-server host` (P.5-4)
- `snmp-server inform` (P.5-5)
- `no snmp-server inform` (P.5-5)
- `snmp-server location` (P.5-6)
- `no snmp-server location` (P.5-6)
- `snmp-server reload` (P.5-7)
- `snmp-server start | stop` (P.5-7)
- `snmp-server udp-port` (P.5-8)
- `no snmp-server udp-port` (P.5-8)

snmp-server community

このコマンドは、外部の SNMP マネージャが DPE の SNMP エージェントにアクセスするための、コミュニティのアクセス スtring を設定するときに使用します。

このコマンドを使用したときは、このコマンドの後に **snmp-server reload** コマンドを実行して SNMP エージェントを再起動する必要があります。詳細については、P.5-7 の「[snmp-server reload](#)」を参照してください。

特定のコミュニティ スtring を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します (P.5-2 の「[no snmp-server community](#)」を参照してください)。

シンタックスの説明

snmp-server community string [ro | rw]

- *string* : SNMP コミュニティを表します。
- **ro** : 読み取り専用 (ro) コミュニティ スtring を割り当てます。実行できるのは Get 要求 (クエリー) だけです。NMS と管理対象デバイスは、同じコミュニティ スtring を参照する必要があります。
- **rw** : 読み取りと書き込み (rw) コミュニティ スtring を割り当てます。SNMP アプリケーションでは、Set オペレーションに rw アクセスが必要です。rw コミュニティ スtring を使用すると、OID 値への書き込みアクセスが可能になります。



(注) デフォルトの **ro** および **rw** コミュニティ スtring は、それぞれ **bacread** と **bacwrite** です。BAC を配置する前に、これらの値を変更することをお勧めします。

例

```
dpe# snmp-server community test_community ro
% OK ()
Requires SNMP agent restart "# snmp-server reload"
```

no snmp-server community

このコマンドは、特定のコミュニティ スtring を削除するときに使用します。

このコマンドを使用したときは、このコマンドの後に **snmp-server reload** コマンドを実行して SNMP エージェントを再起動する必要があります。詳細については、P.5-7 の「[snmp-server reload](#)」を参照してください。

外部の SNMP マネージャが DPE の SNMP エージェントにアクセスするための、コミュニティのアクセス スtring を設定するには、**snmp-server community** コマンドを使用します。詳細については、P.5-2 の「[snmp-server community](#)」を参照してください。

シンタックスの説明

no snmp-server community string

string : SNMP コミュニティを表します。

例

```
dpe# no snmp-server community test_community
% OK ()
Requires SNMP agent restart "# snmp-server reload"
```

snmp-server contact

このコマンドは、MIB II で定義されているシステム接点 (sysContact) を示す文字列を入力するときに使用します。

このコマンドを使用したときは、このコマンドの後に **snmp-server reload** コマンドを実行して SNMP エージェントを再起動する必要があります。詳細については、P.5-7 の「[snmp-server reload](#)」を参照してください。

DPE 担当者のシステム接点を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。詳細については、P.5-3 の「[no snmp-server](#)」を参照してください。

シンタックスの説明

```
snmp-server contact text
```

text : DPE 担当者の接点名を表します。

例

```
dpe# snmp-server contact joe
% OK (Requires SNMP server restart "# snmp-server reload")
```

no snmp-server

このコマンドは、DPE 担当者のシステム接点を削除するときに使用します。

このコマンドを使用したときは、このコマンドの後に **snmp-server reload** コマンドを実行して SNMP エージェントを再起動する必要があります。詳細については、P.5-7 の「[snmp-server reload](#)」を参照してください。

システム接点を示す文字列を入力するには、**snmp-server contact** コマンドを使用します。詳細については、P.5-3 の「[snmp-server contact](#)」を参照してください。

シンタックスの説明

キーワードや引数はありません。

例

```
dpe# no snmp-server contact
% OK (Requires SNMP server restart "# snmp-server reload")
```

snmp-server host

このコマンドは、すべての SNMP 通知の受信者を指定するときに使用します。このコマンドを複数のインスタンスで使用して、複数の通知受信者を指定することができます。

このコマンドを使用したときは、このコマンドの後に **snmp-server reload** コマンドを実行して SNMP エージェントを再起動する必要があります。詳細については、P.5-7 の「[snmp-server reload](#)」を参照してください。

指定された通知受信者を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。詳細については、P.5-4 の「[no snmp-server host](#)」を参照してください。

シンタックスの説明

```
snmp-server host host-addr notification community community udp-port port
```

- *host-addr* : 通知の送信先となるホストの IP アドレスを指定します。
- *community* : SNMP 通知の送信中に使用するコミュニティ スtring を指定します。
- *port* : SNMP 通知の送信に使用する UDP ポートを表します。デフォルトの UDP ポート番号は 162 です。

例

```
dpe# snmp-server host 10.10.10.5 notification community public udp-port 162
% OK ()
Requires SNMP agent restart "# snmp-server reload"
```

no snmp-server host

このコマンドは、指定された通知受信者を削除するときに使用します。

このコマンドを使用したときは、このコマンドの後に **snmp-server reload** コマンドを実行して SNMP エージェントを再起動する必要があります。詳細については、P.5-7 の「[snmp-server reload](#)」を参照してください。

すべての SNMP 通知の受信者を指定するには、**snmp-server host** コマンドを使用します。詳細については、P.5-4 の「[snmp-server host](#)」を参照してください。

シンタックスの説明

```
no snmp-server host host-addr notification
```

host-addr : ホストの IP アドレスを表します。

例

```
dpe# no snmp-server host 10.10.10.5 notification
% OK ()
Requires SNMP agent restart "# snmp-server reload"
```

snmp-server inform

このコマンドは、SNMP エージェントから SNMP マネージャに送信される SNMP 通知のタイプを指定するときに使用します。デフォルトではトラップが送信されますが、このコマンドを使用すると、トラップではなく SNMP 情報が送信されます。

このコマンドを使用したときは、このコマンドの後に **snmp-server reload** コマンドを実行して SNMP エージェントを再起動する必要があります。詳細については、P.5-7 の「[snmp-server reload](#)」を参照してください。

SNMP 通知を切り替えて、デフォルト設定であるトラップに戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。詳細については、P.5-5 の「[no snmp-server inform](#)」を参照してください。

シンタックスの説明

```
snmp-server inform [retries count timeout time]
```

- *count* : SNMP エージェントからマネージャに情報を送信できる回数を表示します。設定したリトライ回数に達する前にタイムアウト期間が終了した場合、SNMP サーバは情報の送信を停止します。
- *time* : SNMP サーバが情報の送信を継続する時間の長さ（ミリ秒）を表示します。タイムアウト期間が終了する前に最大リトライ回数に達した場合、SNMP サーバは情報の送信を停止します。



(注) SNMP 情報を設定するときのリトライ回数およびタイムアウトを指定することはオプションです。指定しない場合は、デフォルト値のリトライ回数 1 回および 5000 ミリ秒が使用されます。

例

```
dpe# snmp-server inform retries 5 timeout 500
% OK ()
Requires SNMP server restart "# snmp-server reload"
```

この例では、SNMP 情報は、リトライが停止されるまでに最大 5 回送信されます。リトライが 5 行われる前に 500 ミリ秒のタイムアウト期間が終了した場合、情報の送信は停止されます。

no snmp-server inform

このコマンドは、SNMP マネージャに送信される SNMP 通知を切り替えて、デフォルト設定であるトラップに戻すときに使用します。

送信される SNMP 通知のタイプを指定するには、**snmp-server inform** コマンドを使用します。詳細については、P.5-5 の「[snmp-server inform](#)」を参照してください。

シンタックスの説明

キーワードや引数はありません。

例

```
dpe# no snmp-server inform
% OK
```

snmp-server location

このコマンドは、MIB II で定義されているシステム ロケーション (sysLocation) を示す文字列を入力するときに使用します。

このコマンドを使用したときは、このコマンドの後に **snmp-server reload** コマンドを実行して SNMP エージェントを再起動する必要があります。詳細については、P.5-7 の「[snmp-server reload](#)」を参照してください。

システム ロケーションを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。詳細については、P.5-6 の「[no snmp-server location](#)」を参照してください。

シンタックスの説明

`snmp-server location text`

text : DPE の物理ロケーションを表します。

例

```
dpe# snmp-server location st_louis
% OK (Requires SNMP server restart "# snmp-server reload")
```

no snmp-server location

このコマンドは、システム ロケーションを削除するときに使用します。

このコマンドを使用したときは、このコマンドの後に **snmp-server reload** コマンドを実行して SNMP エージェントを再起動する必要があります。詳細については、P.5-7 の「[snmp-server reload](#)」を参照してください。

システム ロケーションを示す文字列を入力するには、**snmp-server location** コマンドを使用します。詳細については、P.5-6 の「[snmp-server location](#)」を参照してください。

シンタックスの説明

キーワードや引数はありません。

例

```
dpe# no snmp-server location
% OK (Requires SNMP server restart "# snmp-server reload")
```

snmp-server reload

このコマンドは、DPE の SNMP エージェントのプロセスをリロードするときに使用します。このコマンドを入力すると、リロードされた SNMP エージェント プロセスが表示されます。



(注)

RDU および DPE で SNMP プロセスが起動すると、システムの動作時間を含むトラップが送信されます。ただし、BAC トラップ通知はデフォルトではディセーブルになっています。対応する MIB オブジェクトを SNMP 経由で設定することによってのみ、トラップ通知をイネーブルにできます。CLI または管理者ユーザ インターフェイス経由で、トラップ通知をイネーブルにすることはできません。

この BAC のリリースでは、CISCO-BACC-SERVER-MIB ファイルで定義されているトラップ通知だけがサポートされます。詳細については、*BPR_HOME/rdu/mibs* ディレクトリの MIB ファイルを参照してください。

シンタックスの説明

キーワードや引数はありません。

例

```
dpe# snmp-server reload
Process snmpAgent has been restarted
dpe#
```

snmp-server start | stop

このコマンドは、DPE の SNMP エージェントのプロセスを起動または停止するときに使用します。

シンタックスの説明

`snmp-server start | stop`

- **start** : DPE の SNMP エージェントのプロセスを開始します。



(注)

このコマンドは、SNMP エージェントが動作していないときにのみ使用してください。SNMP エージェントがすでに動作しているときにこのコマンドを実行すると、次のメッセージが表示されます。

```
Process snmpAgent is already running
```

- **stop** : DPE の SNMP エージェントのプロセスを停止します。

例

例 1

```
dpe# snmp-server start
Process snmpAgent has been started
% OK
```

例 2

```
dpe# snmp-server stop
Process snmpAgent has been stopped
dpe#
```

snmp-server udp-port

このコマンドは、SNMP エージェントがリッスンする UDP ポート番号を特定するときに使用します。

DPE では、他のアプリケーションが使用するポート間の共有違反を回避するためにこのコマンドが必要です。ポート番号を変更することにより、ポートの競合が発生しなくなります。

SNMP エージェントのデフォルトのポート番号 8001 は、Solaris コンピュータ上の他の SNMP エージェントとのポートの競合を回避する標準的な SNMP エージェントポートとは異なります。



(注) SNMP エージェントが使用する UDP ポートを標準的なポート（番号 161）に変更することをお勧めします。

SNMP エージェントがリッスンするポートを変更してデフォルトの UDP ポート番号に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。詳細については、P.5-8 の「[no snmp-server udp-port](#)」を参照してください。

シンタックスの説明

```
snmp-server udp-port port
```

port : SNMP エージェントがリッスンする UDP ポートを表します。

例

```
dpe# snmp-server udp-port 161
% OK
```

no snmp-server udp-port

このコマンドは、SNMP エージェントがリッスンするポートを変更して、デフォルトの UDP ポート番号（8001）に戻すときに使用します。



(注) SNMP エージェントの標準的なポート番号である 161 以外のポート番号を使用すると、同じ Solaris コンピュータで実行されている他の SNMP エージェントとポートの競合が発生する可能性が高まります。

SNMP エージェントがリッスンする UDP ポート番号を特定するには、**snmp-server udp-port** コマンドを使用します。詳細については、P.5-8 の「[snmp-server udp-port](#)」を参照してください。

シンタックスの説明

キーワードや引数はありません。

例

```
dpe# no snmp-server udp-port
% OK
```